

## 「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 五条区

日 時 平成 22 年 8 月 3 日(火) 19:00 ~ 20:39

場 所 五条公民館

出席者 (市 民) 75 人  
(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、  
三笠協働のまち推進担当部長、和田市民生活部長、  
和田健行為福祉部長、齋藤建設経済部長、山田教育  
部長、宮原上下水道部長併会計管理者、田中議会事  
務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、安恒広聴広報係長、諫山協働の  
まち推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- |   |                             |               |
|---|-----------------------------|---------------|
| 1 | 開会あいさつ(経営企画課長)              | 19:00 ~       |
| 2 | 区自治会長あいさつ(区自治会長)            | 19:01 ~       |
| 3 | 市長あいさつ(市長)                  | 19:02 ~       |
| 4 | 市職員自己紹介(経営企画課長)             | 19:09 ~       |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:13 ~       |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長)<br>(別紙) | 19:27 ~       |
| 7 | 閉会あいさつ(副市長)                 | 20:36 ~ 20:39 |

	発言の主旨	回答
意見 1	「防犯パトロール」の腕章を着用し、育成会など皆に着用を勧めている。一方市民に対して着用を薦めている市職員が着用しているのを見たことがない。市民はボランティア活動に一生懸命取り組んでいるが、行政職員はボランティアに一生懸命でない。職員がボランティア研修を受けることで、ボランティアが習慣化し、退職後も意識が継続するのではないか。	市民まつり、体育の日行事、環境フェスタ、消防団加入等で多くの職員がボランティア活動をしております。また地域活動に積極的に参加するよう言っており、さらに徹底していきます。
意見 2	宮崎県では緊急時に備えて作業服で勤務している。太宰府市職員も作業服で腕章を付けて仕事してはどうか。	大雨災害の緊急時には、作業服を着用しております。
意見 3	太宰府市職員の居住区は？市内在住の職員は市に愛着があると思うが、市外在住の職員は愛着がない。市内から採用すべきでは。税金も納入される。	(市長) 335人の職員の内 187人が太宰府在住で、148人が市外です。内訳は筑紫地区が96人、福岡市が19人、その他が33人です。採用についても、市内在住者を中心として考えています。試験結果だけでなく、意欲や積極性・郷土愛に重きを置いています。
意見 4	太宰府天満宮の参道の整備など市は天満宮に対して大きな費用投下している。天満宮の協力はあっているのか。市に対して寄附などしているのか。	(市長) 現在は、寄附はいただいていません。かつて、昭和57年当時、中央公民館・図書館建設の際に年間1千万円を4年間寄附いただいた経緯はあります。太宰府市は学校法人や宗教法人が多く、また史跡地が15%もあります。かりに、これらに税金がかかると想定すると約8億円と試算しました。そのような中で、財源を確保していくために考えたのが歴史と文化の環境税(駐車場)であり、みらい基金です。

		<p>(教育長)</p> <p>寄附ではありませんが、剣道や柔道、音楽会など子どもたちの健全育成のための事業に天満宮から協賛していただいています。</p>
意見 4	<p>五条交差点から天満宮の大駐車場までの道は、振動がひどい。過去に一方通行の嘆願書を提出したが却下された。正月は可能なのに年間通じては出来ないのはなぜか。大型バスが離合し、そのため美容室の外壁が落ち、補修費も発生している。またその混雑の中を子どもたちが登下校している。</p>	<p>(市長)</p> <p>この道路は、道整備交付金事業で舗装をやり直した経過があります。また、交通渋滞については、新しい道路の整備だけでなく、パークアンドライドなどの乗り入れ規制などを調査研究しています。一方通行は、周辺住民の同意が必要です。地元の意見を聞きながら問題解決に向けて進めていきたいと考えています。</p>
意見 5	<p>国立博物館建設時に五条橋から天満宮大駐車場までの道路拡幅の話があったが、その後の進展がない。</p>	<p>(市長)</p> <p>また、イメージ的な段階の話ではないでしょうか。道路新設は、地権者の協力が必要です。十分な調査研究の結果、最終決定をすれば、国の補助事業を受け実施したいと考えています。</p>
意見 6	<p>観光客による渋滞が発生しているときに、火災が発生したら緊急車両が進入できずに大火災が発生する恐れがある。</p>	<p>消防署は、常にさまざまな状況に応じた対策について研究・訓練されています。</p>
意見 7	<p>雨の際、参道のタイルがすべりやすい。高齢化も進んでいるので、転倒を未然に防ぐ必要がある。</p>	<p>(市長)</p> <p>現時点で、全面改修は困難ですが、老朽化に伴い改修が必要な時、順次改善していく予定です。</p>
意見 8	<p>五条交差点に起伏があり、夜間停車している対向車がハイビームの状態になる。道路を平坦にすれば危険回避できるのでは。</p>	<p>(市長)</p> <p>技術的に可能なものが、担当部署に調査させます。また、五条口線の岡部床屋から碁会所跡地のところの拡幅を行います。地権者と協議が整い次第、工事に入ります。</p>

		<p>(建設経済部長)</p> <p>交差点の縦断勾配を改修することは困難ですが、現地を調査し方策を考えたいと思います。</p>
意見 9	<p>五条 1,2,3 丁目の児童は太宰府小学校に通学し、五条 4 丁目の児童は太宰府東小学校に通学している。27,8 年前に分けられた。今後少子化が進み、太宰府東小学校と南小学校が合併したら五条 4 丁目の児童はどこに通学するのか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>当面、小学校の合併の計画はありませんが、学校の校区を決定する際は、校区審議会で検討し決定しています。地元の意見を無視して決定することはありません。</p>
意見 10	<p>自治会制度が発足し、1 年経過した。太宰府小学校区の事務所はどうなっているのか。市は説明不十分なままスタートした。自治会制度の姿が見えないと悪い方に解釈する。市として校区事務所設立を斡旋、援助してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>太宰府小校区には、太宰府館をはじめいろいろな既存施設があります。それらを有効に活用していただきたいと思っています。周辺に既存施設がない南小校区は、小学校の大規模改修に伴い、余剰教室を利用してコミュニティセンターを設置しました。どうしても代替施設がないところは、建設の方向で考えていきます。</p> <p>(五条区自治会長)</p> <p>当面の校区自治協議会の事務所は、森田会長の自宅を当てることで進めています。個人的には、五条駅周辺にコミュニティセンターがあればと考えます。</p>
意見 11	<p>水道料金が値下げされるとのことであるが、どうして値下げできるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>大口事業者は、近隣市町と比べると料金が安く、逆に一般家庭は高い状況でした。そこで、大口事業者の方を値上げし、一般家庭の方を安くしたわけです。</p> <p>(上下水道部長)</p> <p>今回の値下げで、年間 600 万円ほどの減収になりますが、現金資金を運用することで、企業としては潰れない経営</p>

		が可能です。
意見 12	農業用ため池がたくさんあり満水である。市民のための防火用水などに活用できないか。	<p>(市長)</p> <p>湯水時はその水を利用することを考えましたが、今日、十分な水量が確保できました。人口でいえば 9 万人程度まで可能です。現在は、景観や調整池機能としての役割を担っています。市民の森のため池も浚渫して、蛸も生息しています。四王寺山や政庁跡など自然の中を散策していただくために、遊歩道やベンチなどを整備しています。市民の健康づくりに役立てていただきたいと思っています。</p>
意見 13	生活道路が狭隘である。セットバックでは拡幅が進まない。セットバック制度以外でも拡幅できるのではないか。	<p>(市長)</p> <p>確かにセットバックは原因が発生しないとできません。しかし、地権者の申し出により拡幅した実績もあります。市民の皆様の要望があれば、協議していきたいと考えています。安全・安心な道路づくりのため、寄附だけにとらわれず、必要に応じては買収してでも拡幅したいと考えています。</p>